

# 施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画	津市都市マスタープラン				
担当部局		都市計画部、建設部				
施策の内容(番号)		086		～	089	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組めます。	A	①	都市政策課
087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。	A	①	都市政策課
088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。	A	①	建設整備課
089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。	B	①	南北工事事務所

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040927086
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ 75
		関連個別計画	津市都市マスタープラン(平成30年度～令和9年度)		
	担当部局	都市計画部			
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
086-1	緑化推進事業	記念樹用苗木の配布	効	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る	◆ 申請件数 700件	○	実施計画を下回ったが(申請実績:609件)、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れている。
	誰		市民	◇ 申請件数	○		
	都市政策課		何	緑化の推進	445 (千円)	現状維持	
086-2	緑化推進事業	生け垣緑化用苗木の配布	効	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る	◆ 申請件数 10件	○	実施計画を2件下回ったが(申請実績:8件)、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図ることができた。
	誰		市民	◇ 申請件数	○		
	都市政策課		何	緑化の推進	182 (千円)	現状維持	
086-3	緑化推進事業	緑化・美化運動の実施	効	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る	◆ 取り組み団体数170団体	◎	実施計画の取り組み団体数以上の取り組み(取り組み団体数:171団体)であり、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心を図ることができた。
	誰		市民	◇ 取り組み団体数	◎		
	都市政策課		何	緑化の推進	5,326 (千円)	現状維持	
086-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

086-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
086-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
086-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
086-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	②	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		管理コード	040927087
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成		本冊ページ	75
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備			
		関連個別計画	津市都市マスタープラン(平成30年度～令和9年度)				
	担当部局	都市計画部					
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
087-1	緑化推進事業	記念樹用苗木の配布	効	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る	◆ 申請件数 700件	○	実施計画を下回ったが(申請実績:609件)、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れている。
	誰		市民	◇ 申請件数	○		
	都市政策課		何	緑化の推進	445 (千円)	現状維持	
087-2	緑化推進事業	生け垣緑化用苗木の配布	効	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る	◆ 申請件数 10件	○	実施計画を2件下回ったが(申請実績:8件)、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図ることができた。
	誰		市民	◇ 申請件数	○		
	都市政策課		何	緑化の推進	182 (千円)	現状維持	
087-3	緑化推進事業	緑化・美化運動の実施	効	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る	◆ 取り組み団体数170団体	◎	実施計画の取り組み団体数以上の取り組み(取り組み団体数:171団体)であり、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心を図ることができた。
	誰		市民	◇ 取り組み団体数	◎		
	都市政策課		何	緑化の推進	5,326 (千円)	現状維持	
087-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

087-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
087-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
087-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
087-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	②	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927088
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
		関連個別計画				
担当部局		都市計画部、建設部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。			

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		実施評価 事業評価
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性		
088-1	香良洲高台防災公園整備事業	香良洲高台防災公園の整備工事	効	地震、津波発生時に避難、及び平常時の公園利用	◆ 多目的広場、駐車場の整備		◎	公園の多目的広場、駐車場の整備を行い、令和7年3月25日に完成した。
	誰		地震、津波発生時に地区外へ逃げ遅れた人及び公園利用者	◇ 避難場所の確保、公園利用		◎		
建設整備課	建設整備課	何	発災時に逃げ遅れても区内避難ができる安心感が持てる。一般的な公園利用に加えて、軽運動やレクリエーションなどに活用することができる	248,963 (千円)	完了			
088-2	岩田池公園整備事業	岩田池公園の整備工事	効	サブエントランスや園路の利用	◆ 工事用道路整備、地盤改良		△	公園北東部の園路整備に伴う堤体工事に必要となる工事用道路の整備と堤体下部の地盤改良を行ったが、繰越となったため、実施評価及び事業評価を「△」とした。引き続き園路整備を着実に進めていく。
	誰		公園利用者	◇ 公園利用の増加		△		
建設整備課	建設整備課	何	前面県道からサブエントランスを視認し、公園利用の機会が増える	19,009 (千円)	現状維持			
088-3	公園施設長寿命化対策事業	老朽化した公園施設の改修工事	効	老朽化した公園施設(遊戯施設)の更新により、安全性の確保、公園施設の機能確保ができる	◆ 遊戯施設23基更新		◎	計画通り、老朽化した遊戯施設23基の更新を行った。引き続き、公園施設の更新により、公園利用者の安全・安心な利用を図るとともに、公園施設の機能確保を行う。
	誰		公園利用者	◇ 施設更新の進捗率		◎		
建設整備課	建設整備課	何	安全・安心に公園を利用できる	36,229 (千円)	現状維持			
088-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

088-5			効	◆	(千円)	
			誰	◇		
			何			
088-6			効	◆	(千円)	
			誰	◇		
			何			
088-7			効	◆	(千円)	
			誰	◇		
			何			
088-8			効	◆	(千円)	
			誰	◇		
			何			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	B	B	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		管理コード	040927089
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成		本冊ページ	75
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備			
	関連個別計画						
担当部局		建設部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから  (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の 事業実施計画	○ 実施 評価 事業 評価	
担当課			何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 今後の 方向性	
089-1	公園維持事業	公園の清掃、除草等の維持管理	効	適正な公園施設の維持管理を行う	◆ 公園施設の維持管理	○	進捗率98.3%となり、地域住民の憩いや交流の場として安全かつ安心して利用できるよう、公園の適切な維持管理を図ることができた。引き続き、安全かつ安心して利用できるように、維持管理を行って行く。
	誰		公園利用者	◇ 維持管理の進捗率	○		
担当課	南北工事事務所	何	公園利用者の安全かつ快適に利用できるよう、適正な公園施設の維持管理を行う	225,295 (千円)	現状維持		
089-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
089-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
089-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

089-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
089-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
089-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
089-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B	B	B			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

